

授業科目	行政法演習
演習題目	行政法関係判例の研究
担当教員	田中 孝男
授業の目的	この演習では、重要な行政法関係の最高裁判例の研究をします。
履修条件	単位取得を要件にはしませんが、憲法Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰ・Ⅱ、行政法Ⅰについては単位取得水準の知識があることを前提にして授業をしますので、単位を取得していないときも上記科目の自修はしてください。行政法Ⅱについても、前期に履修されていることを前提にします。
教科書・参考書	<p>(教科書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇賀克也『行政法（第3版）』（有斐閣、2023年） <p>(参考書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興津征雄『行政法Ⅰ』（新世社、2023年） <p>*新しいテキストが発刊された場合、教科書・参考書の変更や増加があり得ます。</p>
授業の計画・内容	<p>(前期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期は、教科書を通読し、行政法の基本的内容の理解を進めます。 ・同時に、多岐選択式・論文式の演習問題（主要公務員試験、行政書士試験、司法試験、司法試験予備試験等）を解くことで、知識の確認・定着を図ります。 ・後期の判例研究のための準備のための判例研究を1・2回行います。 <p>(後期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇賀克也・最高裁判所裁判官が少数意見（反対意見）を出した行政法が論点の最高裁判決の判例研究をします（報告者による報告制）。 <p>（2023年度のゼミの内容と異なるため、オープンゼミの雰囲気は、2024年度予定のゼミの内容とは異なるものになります。）</p> <p>*上記は参加人数が相当数いる場合の計画で、参加人数が少ないときは参加者の負担内容を考えて内容の変更をします。</p>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・平素の授業への参加状況を踏まえて評価をします。このゼミではゼミ論文の提出は予定していませんが、平素の努力は必要になります（例えば前期の論文式演習問題については、当日授業前までに予習としての解答提出を求めることがあります） <p>*このゼミだけでなく、行政法ゼミの参加を検討されている方の中には、公務員志望者が相当数いると思います。そこで、このゼミに参加するか否かに関わらず、公務員志望をされている方向けに、教員が考えていることの動画を作成しました。教員の考え方が出ているので、必要に応じ、ご視聴ください。</p> <p>【令6版（九大法）「職業としての公務員を考えている方へ」】</p> <p>第1部) https://youtu.be/MzfZr0inviM (28分)</p> <p>第2部) https://youtu.be/nnwakj9qeUY (36分)</p> <p>第3部) https://youtu.be/7eNLolQqm5M (15分弱)</p>